



八街市 出前リーダーサポート塾

7月25日(水)、27日(金)に八街市立八街中央中学校を会場に出前リーダーサポート塾を開催しました。25日(水)は学年主任(56名)を対象に「職場の多忙化解消」と「不登校対応」、27日(金)は教務主任・研究主任(23名)を対象に「人材育成」と「新学習指導要領」について講話・演習を行いました。いずれの講座も先生方は、熱心に意見を交換をしながら課題解決に取り組みました。

7月25日(水) 職場の多忙化解消、不登校対応



多忙化を減らすために、学年主任として会議のスリム化、保護者対応等、若手の手本となるように努めたいと思います。

不登校の児童を担当した経験があります。不登校解消の最終目標が「社会的自立」であることを視野に入れ、「見立てシート」を活用しながらチームで対応し、あせらず、話をしっかり傾聴していきたいと思いました。



多忙化について各校共通の悩みがあることを感じた。市内で協力できることは、協力し合い、少しでも多忙化を解消できればと思う。

7月27日(金) 人材育成、新指導要領



人材育成の研修を通して、まず若手に気軽に相談できる存在になること、そして相談内容に対して適切なアドバイスが言えるようになることが大事だと思いました。



先輩教員としての立場を考えさせられました。教える側としても「コーチングのスキル」が必要なんだと学ぶことができました。今後意識しながら若手と接します。



新指導要領の講話・演習では、未来の社会の状況を考慮して子どもたちの資質・能力を育てていかなければならないと考えることができました。

